

決算短信補足資料

(2011年3月期決算)

2011年4月27日

西日本旅客鉄道株式会社

1. 決算ハイライト

(単位: 億円)

	2010年3月期 通期実績 A	2011年3月期 通期実績 B	対前年比		2012年3月期 通期予想 C	対前年比	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
【連結】							
営業収益	11,901	12,135	+233	102.0	12,600	+464	103.8
営業利益	765	959	+194	125.4	685	▲ 274	71.4
経常利益	481	689	+208	143.3	420	▲ 269	60.9
当期純利益	248	349	+101	140.7	250	▲ 99	71.5
【単体】							
営業収益	8,167	8,286	+118	101.5	8,235	▲ 51	99.4
運輸収入	7,200	7,280	+79	101.1	7,230	▲ 50	99.3
営業費用	7,582	7,528	▲ 54	99.3	7,695	+166	102.2
人件費	2,652	2,353	▲ 299	88.7	2,360	+6	100.3
物件費	3,186	3,334	+147	104.6	3,340	+5	100.2
動力費	335	337	+1	100.4	370	+32	109.7
修繕費	1,281	1,358	+77	106.0	1,335	▲ 23	98.3
業務費	1,569	1,638	+69	104.4	1,635	▲ 3	99.8
減価償却費	1,199	1,291	+91	107.6	1,430	+138	110.8
営業利益	585	758	+173	129.6	540	▲ 218	71.2
経常利益	298	485	+187	162.8	270	▲ 215	55.6
当期純利益	205	285	+79	138.7	160	▲ 125	56.1

2. 運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位:億円)

	通期実績 4/1～3/31			4Q実績 1/1～3/31		
	2010年3月期	2011年3月期	対前年	2010年3月期	2011年3月期	対前年
全社計	7,200	7,280	+79 101.1%	1,758	1,761	+3 100.2%
新幹線	3,124	3,239	+114 103.7%	754	781	+27 103.6%
定期	88	89	+0 100.9%	21	21	+0 100.7%
定期外	3,035	3,149	+113 103.8%	733	760	+27 103.7%
在来線	4,075	4,040	▲34 99.1%	1,004	979	▲24 97.6%
定期	1,408	1,403	▲4 99.7%	335	336	+0 100.2%
定期外	2,666	2,636	▲30 98.9%	668	643	▲24 96.3%
京阪神	2,861	2,844	▲17 99.4%	702	688	▲14 98.0%
定期	1,138	1,133	▲5 99.6%	272	272	+0 100.1%
定期外	1,723	1,710	▲12 99.3%	430	416	▲14 96.7%
その他	1,214	1,196	▲17 98.6%	301	291	▲9 96.7%
定期	270	270	+0 100.1%	63	63	+0 100.6%
定期外	943	925	▲17 98.1%	238	227	▲10 95.7%

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

	通期実績 4/1～3/31			4Q実績 1/1～3/31		
	2010年3月期	2011年3月期	対前年	2010年3月期	2011年3月期	対前年
全社計	52,011	52,614	+603 101.2%	12,470	12,525	+54 100.4%
新幹線	14,818	15,546	+728 104.9%	3,574	3,705	+130 103.7%
定期	708	718	+9 101.3%	172	172	+0 100.0%
定期外	14,109	14,828	+718 105.1%	3,402	3,532	+130 103.8%
在来線	37,192	37,067	▲125 99.7%	8,896	8,820	▲75 99.1%
定期	22,718	22,692	▲25 99.9%	5,278	5,273	▲5 99.9%
定期外	14,474	14,374	▲99 99.3%	3,617	3,546	▲70 98.1%
京阪神	28,114	28,047	▲67 99.8%	6,726	6,675	▲51 99.2%
定期	18,391	18,352	▲39 99.8%	4,309	4,301	▲8 99.8%
定期外	9,722	9,694	▲27 99.7%	2,416	2,373	▲43 98.2%
その他	9,078	9,020	▲58 99.4%	2,169	2,145	▲24 98.9%
定期	4,326	4,340	+14 100.3%	969	971	+2 100.3%
定期外	4,752	4,680	▲72 98.5%	1,200	1,173	▲27 97.7%

3. 単体損益計算書

(単位:億円)

	2010年3月期 通期実績 A	2011年3月期 通期予想 (1/31公表) B	2011年3月期 通期実績 C	対前年比		対予想比 増減 C-B
				増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,167	8,310	8,286	+118	101.5	▲ 23
運輸収入	7,200	7,300	7,280	+79	101.1	▲ 19
その他収入	967	1,010	1,006	+38	104.0	▲ 3
営業費用	7,582	7,530	7,528	▲ 54	99.3	▲ 1
人件費	2,652	2,340	2,353	▲ 299	88.7	+13
物件費	3,186	3,340	3,334	+147	104.6	▲ 5
動力費	335	340	337	+1	100.4	▲ 2
修繕費	1,281	1,380	1,358	+77	106.0	▲ 21
業務費	1,569	1,620	1,638	+69	104.4	+18
線路使用料等	250	250	251	+0	100.2	+1
租税公課	293	300	298	+4	101.6	▲ 1
減価償却費	1,199	1,300	1,291	+91	107.6	▲ 8
営業利益	585	780	758	+173	129.6	▲ 21
営業外損益	▲ 287	▲ 280	▲ 272	+14	95.1	+7
営業外収益	60	64	70	+9	-	+6
営業外費用	347	344	343	▲ 4	-	▲ 0
経常利益	298	500	485	+187	162.8	▲ 14
特別損益	44	-	▲ 4	▲ 49	-	-
特別利益	528	-	489	▲ 38	-	-
特別損失	483	-	494	10	-	-
当期純利益	205	300	285	+79	138.7	▲ 14

4. セグメント情報

(単位:億円)

	2010年3月期 通期実績 A	2011年3月期 通期予想 (1/31公表) B	2011年3月期 通期実績 C	対前年比		対予想比
				増減 C-A	比率(%) C/A	増減 C-B
営業収益 ^{*1}	11,901	12,130	12,135	+233	102.0	+5
運輸業	7,974	8,094	8,064	+89	101.1	▲ 29
流通業	2,019	2,019	2,013	▲ 6	99.7	▲ 5
物販・飲食	1,317	1,325	1,322	+4	100.4	▲ 2
百貨店	639	641	634	▲ 5	99.2	▲ 6
不動産業	709	753	757	+48	106.8	+4
ショッピングセンター	467	478	477	+9	102.1	▲ 0
不動産賃貸・販売 ^{*3}	227	260	264	+36	116.2	+4
【分譲事業】	【25】	【45】	【48】			
その他	1,196	1,264	1,299	+102	108.6	+35
ホテル	330	327	324	▲ 5	98.2	▲ 2
旅行	382	395	394	+12	103.2	▲ 0
営業利益 ^{*2}	765	955	959	+194	125.4	+4
運輸業	452	640	611	+159	135.3	▲ 28
流通業	31	32	35	+4	113.0	+3
物販・飲食	20	-	28	+8	141.1	-
百貨店	8	-	4	▲ 3	53.0	-
不動産業	225	217	222	▲ 2	98.8	+5
ショッピングセンター	69	-	71	+2	103.6	-
不動産賃貸・販売	36	-	24	▲ 12	67.3	-
その他	67	81	96	+29	143.8	+15
ホテル	15	-	15	▲ 0	99.4	-
旅行	▲ 16	-	3	+19	-	-

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。

内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*3} 【 】は分譲売上(再掲)です。

5. 連結損益計算書

(単位:億円)

	2010年3月期 通期実績 A	2011年3月期 通期予想 (1/31公表) B	2011年3月期 通期実績 C	対前年比		対予想比 増減 C-B
				増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	11,901	12,130	12,135	+233	102.0	+5
営業費用	11,136	11,175	11,175	+39	100.4	+0
営業利益	765	955	959	+194	125.4	+4
営業外損益	▲ 284	▲ 290	▲ 270	+13	95.1	+19
営業外収益	76	78	94	+18	-	+16
営業外費用	360	368	365	+4	-	▲ 2
経常利益	481	665	689	+208	143.3	+24
特別損益	▲ 44	▲ 35	▲ 79	▲ 35	-	▲ 44
特別利益	544	-	511	▲ 32	-	-
特別損失	588	-	590	+2	-	-
当期純利益	248	380	349	+101	140.7	▲ 30
包括利益	249	-	338	+89	135.9	-

6. 運輸収入予想

(単位:億円)

	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期予想	対前年比	
	A	B	増減 B-A	比率(%) B/A
運輸収入	7,280	7,230	▲ 50	99.3
新幹線	3,239	3,194	▲ 44	98.6
在来線	4,040	4,035	▲ 5	99.9
京阪神	2,844	2,857	13	100.5
その他	1,196	1,177	▲ 18	98.4

7. 単体業績予想

(単位: 億円)

	2011年3月期	2012年3月期	対前年比	
	通期実績 A	通期予想 B	増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	8,286	8,235	▲ 51	99.4
運輸収入	7,280	7,230	▲ 50	99.3
その他収入	1,006	1,005	▲ 1	99.9
営業費用	7,528	7,695	+166	102.2
人件費	2,353	2,360	+6	100.3
物件費	3,334	3,340	+5	100.2
動力費	337	370	+32	109.7
修繕費	1,358	1,335	▲ 23	98.3
業務費	1,638	1,635	▲ 3	99.8
線路使用料等	251	250	▲ 1	99.5
租税公課	298	315	+16	105.6
減価償却費	1,291	1,430	+138	110.8
営業利益	758	540	▲ 218	71.2
営業外損益	▲ 272	▲ 270	+2	98.9
営業外収益	70	66	▲ 4	-
営業外費用	343	336	▲ 7	-
経常利益	485	270	▲ 215	55.6
特別損益	▲ 4	-	-	-
特別利益	489	-	-	-
特別損失	494	-	-	-
当期純利益	285	160	▲ 125	56.1

8. 連結業績予想(セグメント別)

(単位: 億円)

	2011年3月期 通期実績 A	2012年3月期 通期予想 B	対前年比	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	12,135	12,600	+464	103.8
運輸業	8,064	8,014	▲ 50	99.4
流通業	2,013	2,503	+489	124.3
物販・飲食	1,322	1,296	▲ 26	98.0
百貨店	634	1,153	+518	181.8
不動産業	757	913	+155	120.5
ショッピングセンター	477	519	+41	108.7
不動産賃貸・販売 ^{*3} 【分譲事業】	264 【48】	377 【102】	+113	142.8
その他	1,299	1,170	▲ 129	90.0
ホテル	324	323	▲ 1	99.7
旅行	394	342	▲ 52	86.7
営業利益 ^{*2}	959	685	▲ 274	71.4
運輸業	611	398	▲ 213	65.1
流通業	35	▲ 5	▲ 40	-
不動産業	222	240	+17	107.9
その他	96	58	▲ 38	59.9

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*3} 【 】は分譲売上(再掲)です。

9. 連結業績予想

(単位:億円)

	2011年3月期 通期実績 A	2012年3月期 通期予想 B	対前年比	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	12,135	12,600	+464	103.8
営業費用	11,175	11,915	+739	106.6
営業利益	959	685	▲ 274	71.4
営業外損益	▲ 270	▲ 265	+5	98.0
営業外収益	94	87	▲ 7	-
営業外費用	365	352	▲ 13	-
経常利益	689	420	▲ 269	60.9
特別損益	▲ 79	▲ 10	+69	-
特別利益	511	-	-	-
特別損失	590	-	-	-
当期純利益	349	250	▲ 99	71.5
1株当たり当期純利益(円)	18,066.01	12,910.45	-	-

10. 財政状況・キャッシュフロー計算書(連結)

(単位:億円)

	2010年3月期 期末 A	2011年3月期 期末 B	対前年増減 B-A
資産	25,463	26,724	+1,260
負債	18,442	19,511	+1,069
純資産	7,021	7,212	+191
長期債務残高 【長期債務平均金利(%)】	10,389 【3.19】	11,026 【2.97】	+636
自己資本比率	26.3	25.8	-
1株当たり純資産(円)	345,568.31	355,712.84	-

	2010年3月期 通期実績 A	2011年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	1,613	2,232	+619
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,087	▲ 2,462	▲ 375
フリーキャッシュフロー	▲ 474	▲ 230	+244
財務活動によるキャッシュフロー	546	514	▲ 31
現金及び現金同等物の増減	99	284	+185
現金及び現金同等物の期末残高	510	795	+284
設備投資	2,463	2,827	+364
自己資金	2,101	2,600	+498
減価償却費	1,419	1,508	+89

11. 諸元表

(単位:人、億円)

	2010年3月期 通期実績	2011年3月期 通期実績	2012年3月期 通期予想
連結ROA (%)	3.1	3.7	2.6
連結ROE (%)	3.7	5.2	3.6
連結EBITDA	2,184	2,468	2,415
1株当たり配当金(円)	7,000	8,000	8,000

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

	2010年3月期 通期実績		2011年3月期 通期実績		2012年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	46,104	26,443	45,703	26,705	-	-
退職手当	608	563	300	255	-	264
勤務・利息費用	-	190	-	183	-	185
会計基準変更時差異償却	-	301	-	-	-	-
数理計算差異償却	-	70	-	70	-	78
退職金支給人員	2,596	1,047	2,810	1,160	-	1,353
金融収支	▲336	▲329	▲333	▲321	▲327	▲313
受取利息・配当金	6	12	4	13	5	15
支払利息	343	341	337	334	332	329

12. 長期債務残高

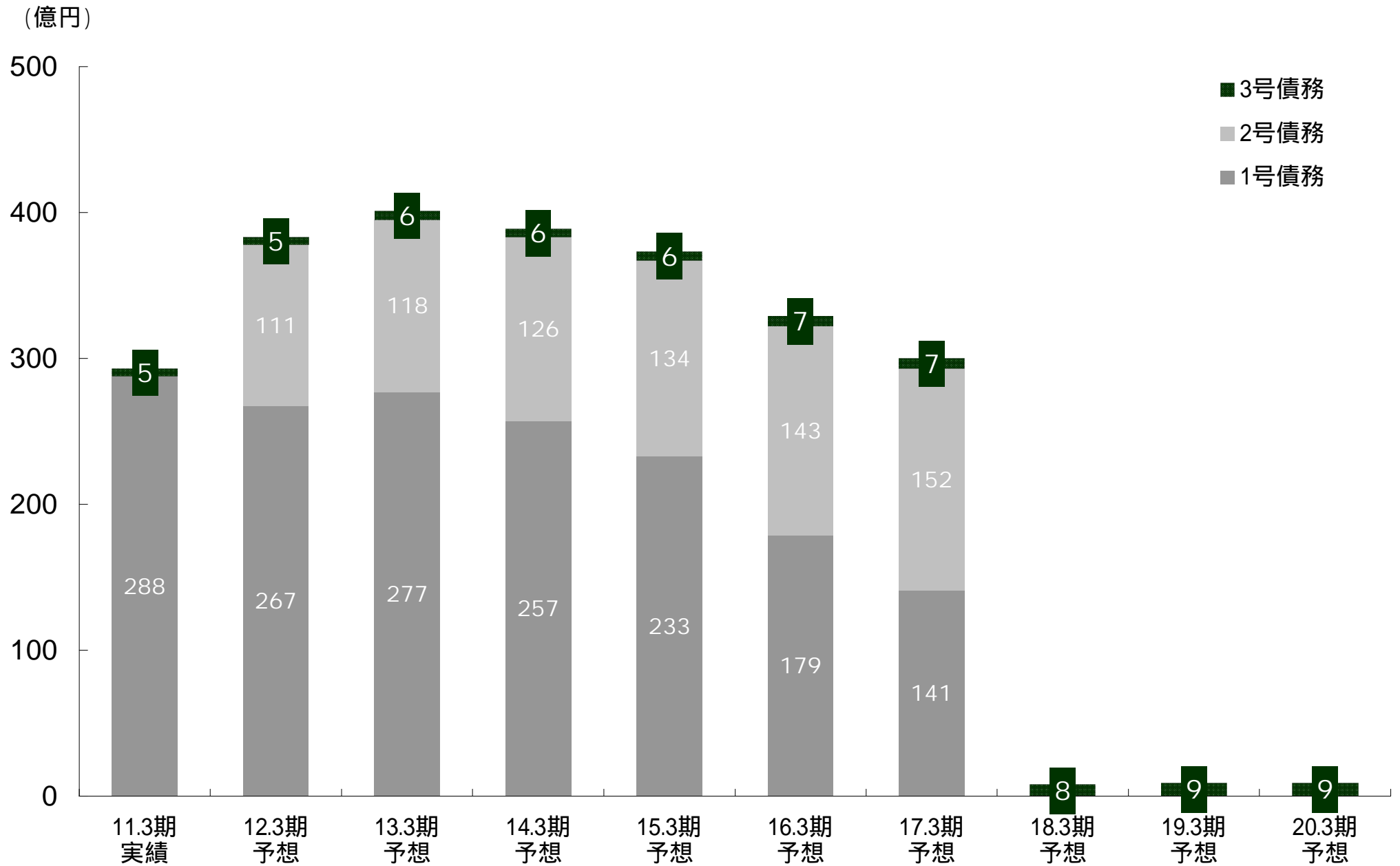
連結長期債務の内訳(2011年3月末時点)

	残高 (億円)	平均金利 (%)
連結長期債務残高	11,026	2.97
新幹線債務	3,229	5.46
社債	4,449	2.09

新幹線債務の内訳(2011年3月末時点)

	残高 (億円)	金利		期間	支払先	
		変動 / 固定	(%)			
新幹線債務	1号債務	1,356	変動	4.08	25.5年 (~ 2017年1月)	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	785	固定	6.35	25.5年 (~ 2017年1月)	
	3号債務	1,087	固定	6.55	60年 (~ 2051年9月)	
	計	3,229	平均	5.46		

13. 新幹線債務の償還見込み



見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 感染症の発生・流行
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2011年4月27日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2011年4月27日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等の影響については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本資料の見通しには含まれておりません。